

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	商工観光課
	関係課
施策名	地場産業
施策コード	2-1-2

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり 小政策 笠間を体感できる観光・産業を振興します
現況と課題	本市では、笠間焼や稲田みかげ石をはじめとする独自の産業が育まれ継承されています。また、「栗」・「小菊」など多彩な農産物の産地ともなっており、重要な産業として地域に深く根付いています。そして、これらの産業は、本市の知名度や魅力向上においても、大きな影響を与えています。 国の伝統的工芸品である笠間焼については、笠間の陶炎祭に代表されるPR事業、新商品の開発、広報等による普及活動や販路開拓事業として、市内及び近隣飲食店などでの活用促進事業を展開してきました。石材業は、稲田みかげ石を活用したPR事業や新デザイン商品への支援などを実施してきましたが、経営面では厳しい環境にあります。また、「栗」や「小菊」などについては、「かさまの粹」農産品認定制度によりブランド化を図るなど、新たな成長が期待されています。 今後は、これらの伝統産業や特産物は、地域の魅力やイメージ、認知度を高めていく資源であることを踏まえ、観光や農林業の振興と連携した地域の活性化につなげていくため、継続的な支援を実施しながら、販売戦略の強化、地域クラスター化など経済効果を強める対策を検討していく必要があります。
施策目標	本市の誇る伝統産業や特産物を継承し、成長を促進するため、他産業への活用や積極的なPRの推進など、販売戦略の強化とブランド力の向上を図ります。

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	0
-------------	---

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
地場産業生産品が市内外施設において活用されていると感じている市民の割合	市民実感度	40.420	51.830	49.800	47.440	53.280	0.000
	加重平均値	2.363	2.571	2.506	2.507	2.592	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		87.290	86.140	86.720	91.390	0.000
	加重平均値		3.423	3.369	3.365	3.503	0.000

(2) 目標指標2

数値指標	単位		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
	笠間焼協同組合員数(販売店含む)	目標値	事業者		160	160	160	160
	実績値	事業者	157	158	158	162	163	0
	達成度	%		98.75	98.75	101.25	101.88	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
稲田石材商工業組合員数	目標値	事業者		65	65	65	65	65
	実績値	事業者	61	60	61	59	52	0
	達成度	%		92.31	93.85	90.77	80	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	地場産業の振興のために設置されている団体であり、市の補助団体であるため各協同組合員数を設定する。
	目標値設定の考え方	産業の弱体化により組合員数が減少していることから、現状を如何に維持するかを勘案し目標値とする。

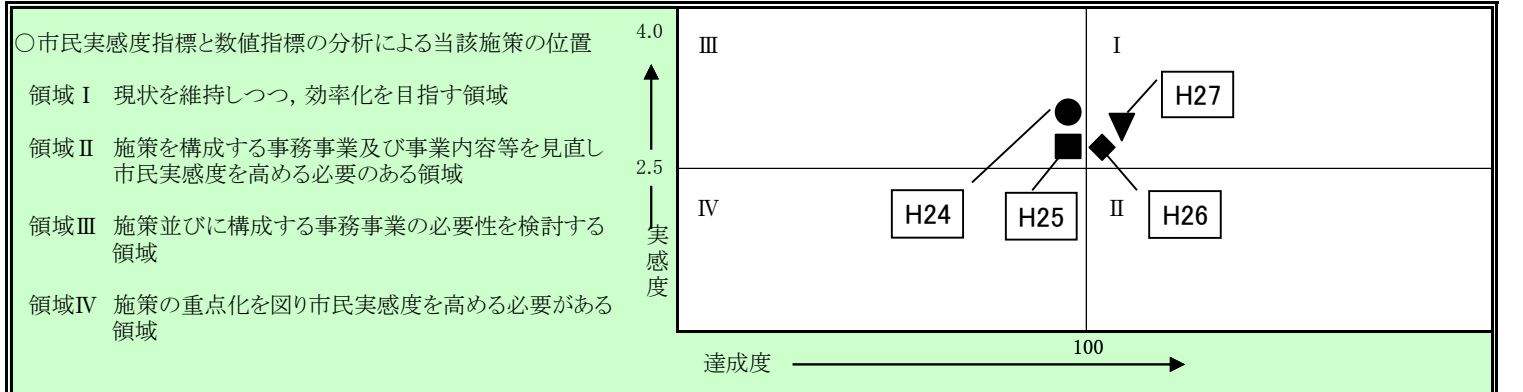
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 市 民:日常生活に地場産材を活用する。 事業所:消費者ニーズに即した商品開発及び販路の開拓を行う。
	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 伝統産業のPR 公共事業への積極的な活用 県立陶芸美術館や窯業指導所の積極的な活用 販路開拓に関する協力体制の構築 創業者に対する支援

3 平成27年度の取組状況

取組状況等	取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 笠間焼 ・将来の笠間焼の発展のために、笠間焼第5次伝統的工芸品産業に関する振興計画に基づき事業を実施した。(組合及び窯業) 稲田みかげ石 ・「いばらきストーンフェスティバル2015」を、「技能祭」「いばらきものづくりフェア2015」「JAふれあいまつり」と同時開催し、県内外からのお客様へ広くPRすることが出来た。また、県内の自治体や首都圏を中心とした企業向けに内覧会を行い、石材の公共事業や一般事業等、新規の販路開拓を行った。 ・「いなだストーンエキシビジョン」を「笠間の陶炎祭、笠間浪漫」の稲田緑日会場にて開催した。
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 笠間焼においては、新たに作家活動を始めても、組合員となるための出資金や毎月の組合費が負担となり、組合に加盟していない状況である。 石材業においては、設備投資や経済状況により新規に起業することが困難であることから、組合員数は現状維持となっている。 このような理由から、どちらの組合も様々な取り組みを行っているにもかかわらず、施策目標を達成できていない。
-------	--

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 笠間焼及び稲田みかげ石は重要な地場産業であることから、引き続き事業所や各団体への支援を行うことで成長が期待できることから、構成としては妥当と考えられる。
------------	---

残された課題	平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 長引く景気の低迷による売上及び販売量が減少傾向にある。 費用負担が増えることによる、組合への加入見送り。
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	平成29年度に向けた施策方針 笠間焼においては、将来を担う陶芸家の支援を引き続き行うとともに、第5次伝統的工芸品産業に関する振興計画に沿った笠間焼協同組合の産業振興を実施する。 稲田みかげ石については、経済状況が向上していることから、各種イベントで公共事業や一般企業などに向けてPRを実施していく。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 02 地場産業

事業費合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均
	13,817	15,444	16,733	45,994	15,331

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
1	地場産業支援事業(稲田みかげ石振興)	明治時代から続く地場産業である稲田みかげ石の活性化について、事業協同組合を中心に支援することにより業界全体の経営向上を図る。	106 政策的事業	石材関連イベント参加者数	人	210,000	140,000	30,450	市単独	3,939	3,977	3,140	01 経営の安定化推進	商工観光課	1
2	地場産業支援事業(笠間焼振興)	国の伝統的工芸品として指定を受けている笠間焼を活性化し、笠間への来訪者の増加などの要因により、地域経済効果を高める事を目的に、観光や農業などと連携を図った事業展開を行う。	106 政策的事業	笠間の陶炎祭入込み数	人	468,000	488,000	516,000	国補助	9,723	3,799	2,654	01 経営の安定化推進	商工観光課	1
3	緊急雇用(笠間火器販路拡大事業)	笠間焼の販路拡大と笠間のPRのための新たなツールとして笠間火器を取り入れ、旅館等への販促活動を実施するため、笠間焼協同組合に雇用対策と合わせた事業を委託する。	106 政策的事業	旅館等利用店数	店	0	1	5	国補助	155	3,996	3,996	02 地場産業製品の利用促進	商工観光課	4
4	石の百年館管理事業	笠間の重要な地場産業である稲田石の振興、観光交流の促進及び地域活性化を図るためJR稲田駅隣接地に「観光交流センター 石の百年館」として、H26年3月に開館。	106 政策的事業	来館者	人	0	7,195	6,000	市単独	0	3,672	3,698	03 各種PRの拡充	商工観光課	4
5	笠間焼振興事業(緊急)(繰越)	国の伝統的工芸品として指定を受けている笠間焼を活性化し、笠間への来訪者の増加などの要因により、地域経済効果を高める事を目的に、観光や農業などと連携を図った事業展開を行う。	106 政策的事業	笠間の陶炎祭入込数	人	0	0	516,000		0	0	0	01 経営の安定化推進	商工観光課	2
6	地場産業支援事業(笠間焼振興)(地方創生)	歴史、文化などの付加価値及び一定の集積があり、笠間市の魅力度向上にもつながる伝統工芸品の「笠間焼」産業の活性化に向けて、販路拡大を支援する。新たな海外販路を獲得することで、「笠間焼」の認知拡大、産業としての発展に寄与し、ひいては地域活性化に資する。	106 政策的事業	新規海外販路件数	件	0	0	0		0	0	3,245	01 経営の安定化推進	商工観光課	1

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

施策名 地場産業

施策目標に対する事務事業の意図 1 施策目標に対応している 2 施策目標に概ね対応している 3 施策目標に概ね対応している 4 施策目標に概ね対応している 5 施策目標に概ね対応している 6 施策目標に間接的である 7 施策目標に間接的である 8 施策目標に間接的である 9 施策目標に間接的である	1	地場産業支援事業(稲田みかげ石振興) 地場産業支援事業(笠間焼振興) 緊急雇用(笠間火器販売拡大事業) 石の百年館管理事業 笠間焼振興事業(緊急)(繰越) 地場産業支援事業(笠間焼振興)(地方創生)	2		4				
	3		5		7				
	6		8		9				
	施策の対象と一致している			施策の対象と概ね一致している			施策の対象と間接的(少数)である		
	施策の対象と事務事業の対象								

義務的的事业, 内部事務事業

シート2 施策内事務事業貢献度評価

施策名 地場産業

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1 地場産業支援事業(稲田みかげ石振興) 地場産業支援事業(笠間焼振興) 地場産業支援事業(笠間焼振興)(地方創生)	2 笠間焼振興事業(緊急)(繰越)	4 緊急雇用(笠間火器販路拡大事業) 石の百年館管理事業
3	5	7
6	8	10
9	11	12

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない
若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

義務的事業, 内部事務事業

事務事業の成果基準の説明